

『品格ある学校』づくり」第三章 — パンジーに想う —

校長 青野 保

美化委員や4・5組の生徒、教頭をはじめとする職員が植えたパンジーが身を縮こまらせて寒さに耐えています。寒さに耐える時期があるからこそ、春本番に咲き誇ることができるのだらうと想像します。

新年おめでとうございます。穏やかに、3学期をスタートできますことを心から喜んでいきます。

本校に着任して以来、3年連続して快晴の初日の出を拝むことができました。富士山に対峙して力強く昇る太陽を見ながら、3学期のスタートに当たって、生徒たちに次のように話すことを決意しました。



【本校屋上からの初日の出】

一つ目は、『品格ある学校』を作ろう！』ということです。私は、「品格」とは「物事の本質は何かを突き詰めて考え続けることを繰り返すことによって醸し出されるオーラのようなもの」と考えています。大切なのは、「常に問いを立てる」ことです。一つ一つの活動に対して、「何のためにやるのだらう？」「どうしてこうするんだらう？」など「問い」を常に立て突き詰めて考えた上で実行してほしいのです。難しい課題だとは思いますが、それが本校学校教育目標の核である「夢」の実現につながるはずで

二つ目は、「夢をもつ」ということです。すべては夢の実現のためにあると言えるかもしれません。人は夢があるから頑張れるのです。農家、大工、教師、政治家、チューバーなど何でも結構。具体的な職業に就いて輝いている自分を想像してください。同時に、「夢は変わる。変わっていい」ということも心に留めておきましょう。大切なことは、目標となる具体的な夢をもつということです。

最後に、「花には水、人には言葉」です。3学期は今年度の総まとめと来年度の準備に同時進行で取り組む学期です。忙しさのために、いろいろなことが「雑」になったり、自分勝手な判断で行動してしまったりすることがあります。そうすると、生活に潤いがなくなってしまいます。日々を豊かに気持ちよく過ごすために、周りを広く見渡しなが

ら、言葉を大切に上手に使うよう努力してください。

今年は本校開校40周年を迎えます。1・2年生は新たな一歩を踏み出すためのエネルギーを蓄え爆発させるための準備をしてください。3年生は、「私たちを超えられるなら超えてみろ！」という気概をもって中学校最後の学期を過ごしてください。

本年も、より良い黒浜西中学校を創るためになると思うことに躊躇なく取り組んでまいります。保護者・関係の皆様には、昨年までと変わらない御支援・御協力をお願いいたします。